



パラケラウス医科大学
リッター教授



ハイルシュトレン
コストィンガー代表



バートガシュタイン
リハビリ病院
ライナー医師とインゲ代表

欧州ラドン温泉療法研究会

22年6月ザルツブルグレポート



ハイルシュトレン開業70周年記念

今年、ガシュタイナー・ハイルシュトレン坑道浴病院は開業してから70年の記念すべき年を迎えました。4月1日に行った当研究会との記念講演会は両国文化の違いを乗り越え、「ラドン」における期待の高さを知る気かけとなりました。この度、この講演会を記念したパネルを作成しました。講演会に参加して頂いた先生方の所属機関を再訪問し、パネルにサインを頂きながら、近況を伺って来ました。

4月1日に大阪大学で開催したバドガシュタインとの共同勉強会はラドンの可能性を再確認することができた貴重な時間となりました。

訪問先レポート

1) ザルツブルグ・パラケラスス医科大学 (オモテ上左)

リッター教授の研究テーマはガシュタイナー地域の水質と腎機能の関係です。中でもラドンによる生体影響はインスブルック大学より引継がれた歴史ある研究の柱です。また骨再生に関わるラドン研究は、水の成分が腸から吸収されるメカニズムと腎臓機能の解明に関わる研究の一部として行われているものでした。

2) バートガシュタイン・リハビリ病院 (オモテ上右)

コロナ禍による影響で整形外科分野の手術が制限されている為、痛みのコントロールに有効なラドン浴を求めめる方で病院は混雑していました。また、前回の講演で話題になったコロナ感染後遺症へのアプローチですが、喉や肺の炎症による痛み、全身(筋肉)の倦怠感や脳機能障害等の改善が期待されています。

3) ガシュタイナー・ハイルシュトレン坑道浴病院

坑道浴病院への入坑人数制限が、現在でも厳しいオペレーションを強いています。しかし、コロナ禍で急増した呼吸器の問題を抱えている方の入坑希望者が増えている様でした。(オモテ上中央・右側2段目)

4) 番外編 大阪・彩都友紘会病院

4月の講演会に参加頂いた中村仁信先生にも記念パネルにサインを頂きました。今後もラドン等、放射線影響に関する情報をご指導頂く予定です。

5) ザルツブルグ・パラケラスス医科大学 (右側3段目)

リッター教授を訪問していたアメリカ・カリフォルニア州保健局のジョディ博士と面談しました。博士は飲水と公衆衛生との関係を調査しておられます。日本留学経験もある博士はラドン温泉水にも関心を寄せており、ザルツブルグを訪問されていました。

6) ザルツブルグ・グラーフ婦人科クリニック (右側4段目)

オーストリア乳癌学会会長のグラーフ先生も訪問して来ました。ザルツブルグでは当研究会の顧問医を引受けて頂いております。子宮頸癌の薬物療法に関する受け入れも引き続き受託頂きます。

7) バートホフガシュタイン・州立観光協会 (右側5段目)

日本人として、この地域で初めての公的招待訪問となりました。ラドン温泉療法を中心としたヘルスツーリズムに関心がある様で、その可能性をお話しました。

各講師の直筆のサイン入りのパネルを作成しました！

